

### 第3回広幡小学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年5月22日（月）18時35分～19時15分

2 場 所 広幡コミュニティセンター ホール

3 出席者 （1）委員 14名

（2）事務局 教育指導部長 山口 玲子

学校教育課長 植木 修

学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純

学校教育課 適正規模・適正配置推進室長 柴倉 和典

学校教育課 主事 渡邊 亮

学校教育課 学校教育専門員 岩倉 由美

4 内 容

（1）開会

（2）あいさつ （金谷恵一会長）

（3）協議

①会議録の承認について

②統合のあり方に関する意見について

③意見書の取りまとめについて

（4）次回会議の開催について

（5）閉会

（3）協議について

（会 長） 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

（会 長） 以上の説明について、質問はありますか。

《 質問なし 》

（会 長） 次に、「統合のあり方に関する意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

（会 長） それでは皆さんから意見などを出していただきたいと思います。いかがでしょうか。

（委 員） 資料の2枚目の統合にあたってのその他意見等について、2のところですが、地域に愛着を持てるように、これ当然のことだと思います。今まで話題にしてきたことってというのは、子どもと学校とPTAと教育委員会と皆が中心になってということだと思いますけれども、やっぱり地域の子供達ということを考えれば、もう1つ地域の役割があると思います。それは教育委員会の方で考えることではなくて、地域の私達がもう少し主体的になって考えていかなくてはいけないのではないかなって思います。やっぱり学校がなくなってしまふ、なくなったと言っても別にちょっとその先に行くだけだから、そんなに

変わるものではないと思いますけれども、例えば、山上地区の方が、松川小に統合になるとなったときに最初そんなもんだと思って考えていて、地域から子ども達がいなくなるわけじゃないし、ちゃんと学校から帰ってくるけど、それでもやっぱり学校がなくなってこんなに重大なことだって気が付かなかった。子どもたちが新しい学校に行くようになって初めて気が付いたとなれば、やっぱりそれだけ地域に及ぼす影響って大きいと思います。今回のこの協議会は、適正配置に向けてということですから、子どもと学校とPTAということになるとは思いますけども、地域の私たちがあと3年間の間で、どういうふうに子ども達を支えていくのか、この先も子ども達を支えていくことを考えるのであれば、ここに集まっていたいる地域の代表の皆さんで、別の組織を立ち上げるなり、そういうような形で継続的に子ども達を支えていけるような仕組みがあればいいかと思います。やっぱり、皆で支えていくっていうことは地域の愛着になるし、それは子ども達だけじゃなくて地域の大人のためにもなりますし、それがひいては、有意義な地域づくりになっていくのではないかなというふうに思っているところです。これは直接統合とは関係ない、地域の問題ということですけど、やっぱり代表の皆さん集まっていられし、もう3年しかないというようになところで何か考えていただければありがたいと思います。

(会 長) これについてはやっぱり意見として賜りたいと思います。他に何か気づいた点がありましたら出してください。今回、ほぼ、こういった意見の内容については考えられる範囲内で出していただいて、概ねまとめの段階に入りたいと思いますので、言い残してしまったとらないようにお願いします。

(事務局) 今、地域として考える部分があるのではないかというお話がありましたが、例えば、今お話いただいたような内容をこの意見書に書き込んでいくとなった際に、地域で何かを考えて活動をするというときに、教育委員会や行政として何か支援をしてほしいとか、一緒に何かをやる仕組みをつくりたいといったことをご意見として挙げていただくのであれば、それを意見書として教育委員会、市あてに出していただくという形になるかと思いますが、仮に、今のお話のように地区で何か考えなきゃいけないのではないだろうかという中でのお話になった場合には、そのままのご意見で意見書に入れるとなると宛先が教育委員会では、ブレてしまうのではと思ったところです。それを何とか進めたいというご意思が地区としておありであれば、何らかの形で市として手伝うようにとか支援するようにという形で書いていただければ良いのではないかと思います。

(委 員) あくまでも個人的な話ですが、コミセンの館長さんがきっと何かしてくれるだろうと思ってはいますけども、ただそういう話ではないと思うのです。だから、ここにいらっしゃる方々、PTAの方々、地区の代表の方、民生委員のよ

うな方々、子どもに関わっていらっしゃる方々、そういう方々が地区には大勢いらっしゃると思うので、そういう方々がみんなで集いあえるような、そういうような形を作れるのであれば、今回、議長を務めてくださっている館長さんにまとめていただいて、こういうふうな方々がいいのではないかと作っていただけるといいのではないかと思います。これはあくまでも個人的な希望なので全部お任せしておんぶに抱っこで申し訳ないとは思いますが、作るとしたら作った後はどういうふうにしていくかといったことは、それはまた別の問題だとは思いますが、何かを作るということであれば、何かのきっかけが必要になるのではないかと思います。

(会 長) 簡単にはいかないような話なので、すぐにどうすればいいかということは出せないわけですが、参考になればということで、今、小学校とやっているのは、このあと26日に実施する地元の歴史を見ながら、勉強しながらサイクリングで回るというようなこともやってもらってまして、あれはいい機会かなと思っています。あと、広幡は1つの組織の中でいろいろやりましょうというやり方をやっているわけではなくて、基本的に以前からスポ少にしても、子どもの育成ためのスポ少なので、そういう考え方でやっています。勝つためとかいうことではなく、自信を持ってもらうために始めたのがジャンプで、マイナースポーツなので割と競争相手が少なくて普通に国体に出る子がいっぱい出てくる。そのようなことで自信を持ってもらおうということで始めたのがスキー関連でした。子ども達が何か体験したり参加したりしてよかった思い出になるようなものを続けてきたものです。コミセンでの門松づくりとかやってきました。極端かもしれないが、あらゆる組織が子どもを中心に考えられて行事が組まれてきていると言っても過言ではないくらいだと思います。その成果がどのくらいあるかは分かりませんが、小学校が現実的にここになくなるってことになるとう幡だけでいろいろとするということがどんどん少なくなっていくと思います。それによって地区がどうやって子ども達と関わっていくのかということを、単にいろんな組織を作って検討していくっていいのかどうか分からない部分もあるなというふうに思います。

今後ともコミセンはあるので、そういったものを中心にして、子どもたちが参加できるようなものを残していくことは必要かなと思います。六郷さんだと教育懇談会というのを毎年やっているようですが、広幡の場合は、今のところそういう懇談会みたいな組織がありません。ただ、考え方としてはそういう考え方で脈々と続けてきていると思っていますので、今後どのような形がいいかということは、ちょっと難しいけれども検討していきたいと思っています。今後の課題という形で、今回のこの統合にあたって、具体的にこれをどんな形でお願ひするべきかといったところはちょっと簡単ではないかなと思います。ちょ

っと課題として残すこととして、今回は具体的な提案をするのは難しいかなと思います。やらないってわけではないですけどもどういうやり方がいいかというのが簡単には決められないというふうに思います。どうでしょうか。

(委 員) 役を引き受けてくれる人がいなくて地域の仕事もみんな精査して、合わせられるものは合わせるようにしてきたと伺っております。私が今勤務している学童保育も地域の人たちが作った本当に地域の子どもたちのためにと作ってくださったもの。やっぱりそういう地域の力はすごく大きいと思います。だから今私がお話したことは、地域の大きい課題だと思う。それをもっと大局的に見ていくのかどうかというところについては、皆さんどういうふうに判断なさるかとは思いますが。ただ大変なことですよ。それはすごくよくわかります。

(会 長) 簡単にまとめられる話ではないと思います。広幡だけでなく塩井と六郷とそれぞれ地区の事情があって、それぞれいろいろなことを考えていると思います。ただ、学校としては1つの学校になるので、3地区あると言っても3地区ばらばらに色々なものを要求しても学校で対応ができないってということにもなってくるわけで、どれをどういうふうに結びつけていくかというのは、新しい小学校としては難しい部分があるかと思っています。

現在、取り組んでもらっているサイクリングで広幡の歴史を回るみたいなものは、統合小になっても多分やれる範囲かなとは思いますが。だからそういうことを積極的に学校の教育の中で取り入れいただくということは可能かなと思っていまして、そういう部分だと教育委員会にお願いしてサポートしてもらってということではできるかなと思います。ただ、他の部分については、やっぱりなかなか難しいと思います。

組織として考えてということではないので。その他の部分についてはちょっと検討課題として継続してやっていくということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。特別ここで要望することが必要かどうかですが、さっき言った要望してできる部分もあると思いますけども。皆さん、意見あったらお願いします。

それで地域の取組のあり方については、これからもずっと検討していくということで、なるべく統合小学校の中においてもその地域の学習であったり、体験であったりというものを増える方向でお願いしていくと、基本的にはそういうこともいいのかなというふうに思います。そういうような形でまとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。今の意見の他に何かありましたらお願いしたいと思っています。

それでは、特別みなさんから意見が出ないようですので、2番目の統合のあり方に関する意見についての意見交換を終わりたいと思います。

次に「(3) 意見書の取りまとめについて」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 質問はいかがでしょう。なければ以上で協議を終了します。